

## 第11期学術分科会の各部会等の検討状況について

### ○研究環境基盤部会

- 公私立大学の共同利用・共同研究拠点について、中間評価を行った。また、期末評価及び令和5年度からの認定について審議中（評価結果の公表は令和4年度中、認定に関しては令和5年度当初に公表予定）。
- 学術研究の大型プロジェクトについて、年次計画が終了する5計画の事業移行評価等に係る審議を行うとともに、長期間に渡る活用実績等を踏まえ新たに学術研究基盤として位置付ける3計画の評価に係る審議を行った。
- 次期ロードマップの策定について議論を開始し、今期中に策定方針の取りまとめを行う予定。（詳細別添）
- 国立大学法人運営費交付金（学術研究関係）について、配分等に係る審議を行った。

### ○研究費部会

- 科研費の制度改善に向けた検討を進めており、今期は特に国際共同研究及び若手研究者支援の改善・充実、基盤研究の在り方について、今期のとりまとめに向けて審議を実施。

### ○人文学・社会科学特別委員会

- 第6期科学技術・イノベーション基本計画等を踏まえ、人文学・社会科学に関連する指標の検討を継続して行っている。これまでに6回審議を行い、有識者等から人文学・社会科学における研究評価の課題等についてヒアリングを実施。前回の審議会では「人文学・社会科学の研究成果のモニタリング指標」の素案について議論を行った。今後は案の取りまとめに向けて更に議論を実施する予定。

## 次期ロードマップの今後の検討について（案）

○文部科学省では、日本学術会議が策定する「マスタープラン」※<sup>1</sup>を参考とし、大型プロジェクト推進に当たっての優先度を明らかにする観点から、「ロードマップ」※<sup>2</sup>を策定してきた。

【最新のマスタープランとロードマップ（2020）】概ね3年ごとに策定

※<sup>1</sup>「第24期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン2020）」2020.1.30

※<sup>2</sup>「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想ロードマップの策定-ロードマップ2020-」2020.9.24

○日本学術会議では、従来の「マスタープラン」は策定しないこととされ、新たに「未来の学術振興構想」の策定手続きが現在進められている。

【日本学術会議「未来の学術振興構想」スケジュール】※公募要領より

2022年6月30日 公募開始

2022年12月16日 公募締め切り

2022年12月後半 「学術の中長期研究戦略」評価及び「グランドビジョン」検討を開始

2023年夏頃 「未来の学術振興構想」案取りまとめ・公表

○この状況を踏まえ、「学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会」において、次期ロードマップの策定方針等の検討を進める予定。

「学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会」スケジュール（予定）

1 1月9日 ロードマップ策定方針（案）について審議

1 2月7日 ロードマップ策定方針（案）について審議

1 2月中旬～ ロードマップ策定方針（案）に関する意見募集（2～4週間程度）

※2023（令和5）年1月以降、引き続き詳細について検討予定